

平成26年度 第3回

日時：平成 27年 2月 8日（日）

12時開場—17時閉場

会場：仙台サンプラザホテル2F・3F

（宮城県仙台市宮城野区榴岡5-11-1）

会場全体図

【ご注意事項・ご案内】

- ※ ご来場時は**3F「総合受付」**にお越しください。
- ※ **アンケート**にご協力をお願いします。
- ※ 貴重品管理は各自をお願いします。
- ※ クロークをご利用いただけます。
- ※ 試食品以外の飲食の持ち込みは禁止です。
- ※ 冷水はセルフサービスでご利用いただけます。
- ※ 喫煙スペースは屋外と2Fにございます。
- ※ ゴミはお持ち帰りください。
- ※ **B会場（宮城野）は、いかなる撮影も禁止**です。
- ※ 当交流会は**マスコミオープン（B会場以外）**となります。

▼会場全体のご案内 ※詳細は各ページをご覧ください。

【ブース関連企画】 11p

- スタンプラリー ●ブースコンテスト
- マッピング・マッチングボード



お手洗い



EV エレベーター



冷水セルフサービス

3F

【A会場】

- パネルディスカッション 3p
 - ・Part1 「新しい東北」×「地方創生」
 - ・Part2 高齢社会対応の地域づくり
- 挨拶（竹下復興大臣・村井宮城県知事）
- 「被災地の元気企業40」発表イベント 13-14p
- ブース出展 5-10p
 - ・企業・団体による復興支援
- パネル展示 12p

A会場 (クリスタルルーム)

パネルディスカッション
挨拶
「被災地の元気企業40」発表イベント

ブース出展
パネル展示

ステージ

【B会場】

- 共催イベント

B会場(宮城野)

共催イベント

スタンプラリー
《景品引換所》 11p

総合受付

飛び入りプレゼン
大会 12p

クローク

休憩スペース

復興庁
事務局ブース

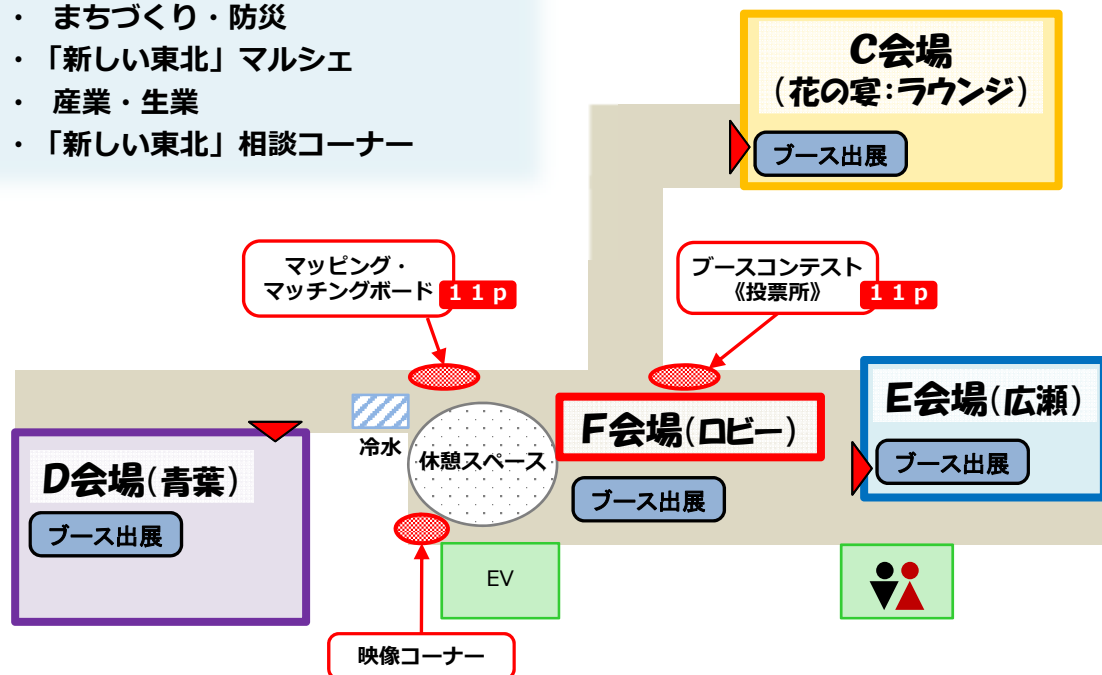
EV

「新しい東北」
SNS拡散キャンペーン 12p

【C・D・E・F会場】

●ブース出展 5-10p

- ・ まちづくり・防災
- ・ 「新しい東北」マルシェ
- ・ 産業・生業
- ・ 「新しい東北」相談コーナー



▼全体タイムテーブル

	A会場（3Fクリスタルルーム前方） ステージ企画	A会場（3Fクリスタルルーム後方） &C・D・E・F会場（2F全体） ブース出展・パネル展示	B会場（3F宮城野） 共催イベント
	12:00 受付・会場		
12:00		【12:00-17:00】 ブース出展・パネル展示	※同日共催イベント開催※ 仙台の若者と一緒に、新しいアイデアを持つ方々による『プレゼンテーションと新しいアイデアをみんなで生み出す『アイデアソン』を融合させた、新しいイベントを開催します！
12:30	【12:30-13:30】 パネルディスカッション Part 1		
13:00			
13:30			
14:00	【13:50-14:40】 パネルディスカッション Part 2		
14:30			
15:00	【14:55-15:10】 「復興支援インターン」活動報告		
15:30	【15:10-15:50】 挨拶（竹下復興大臣・村井宮城県知事） 「被災地の元気企業40」発表イベント		
16:00			
16:30			
17:00	17:00 閉場		
17:30			

特別企画①：A会場 パネルディスカッション

Part 1 「新しい東北」×「地方創生」

「地方創生」を推進する方々にパネリストとしてお越しいただき、それぞれの取組状況や今後の展望・課題についてご議論いただくとともに、被災地復興における「新しい東北」に向けた期待等をお話しいたします。

場所・時間 A会場 メインステージ 12:30-13:30

ファシリテーター



藤沢 烈氏
RCF復興支援チーム
代表理事

パネリスト



奥田 麻依子氏
島根県海士町
陽岐島前高校 魅力化
コーディネーター



大南 信也氏
徳島県神山町
NPO法人グリーン
バレー 理事長



岡崎 正信氏
岩手県紫波町
オガールプラザ
株式会社 代表取締役



小泉 進次郎氏
復興大臣政務官

Part 2 高齢社会対応の地域づくり

先導モデル事業等の「新しい東北」に向けた取組の中から、高齢社会対応の地域づくりに取り組む方々にパネリストとしてお越しいただき、官民連携の必要性、推進策、今後の課題・展望についてご議論いただきます。

場所・時間 A会場 メインステージ 13:50-14:40

ファシリテーター



池田 昌弘氏
全国コミュニティ
ライフサポートセンター
理事長

パネリスト



清水 隼人氏
変幻自在合同会社
代表社員
(ICTを活用した
無人販売システム)



下浦 佳之氏
日本栄養士会
常務理事
(高齢者の健康づくり)



坂本 匡蔵氏
平商店会連合会
副会長
(民間出資
オンデマンドバス)



長 純一氏
石巻市地域包括ケア
推進協議会
(地域包括ケア)

特別企画②：注目ブースとプレゼンテーション

「新しい東北」を
体験しよう!!

ブースF04&
会場外

デマンドバス試乗会

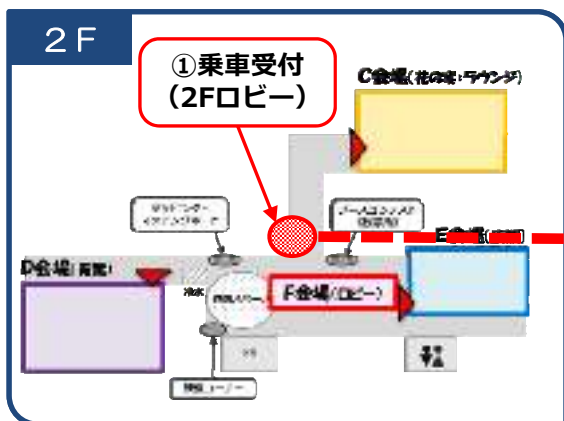
福島県いわき市で「民間主導型オンデマンドバス」を運行している孝行コンソーシアムが、交流会会場発の試乗会を実施します！ スーパーや病院等のいわき市のデマンドバスで利用できる施設を通過しながら、車載器を使ったオペレーションの実演など、実際の運行の様子を車内で再現します。

当日、乗車をご希望の方は2階ロビー前の「乗車受付」にて担当スタッフにお声掛け下さい。

▼運行概要

- ・ 13:00-17:00の間、約30分間隔で運行します。
- ・ 2階ロビー前の「乗車受付」（ブース：F04）でお申込みください。
- ・ 会場を出発し、一周約15分で会場に戻ります。（途中下車はできません。）

▼乗車受付・乗車場所



▼運行車両イメージ



※写真は、いわき市で実際に使用している車両です。当日は同型の車両で運行します。

A会場

「復興支援インターン」活動報告

場所・時間 A会場 メインステージ
14:55-15:10 (予定)
プレゼンテーション

- ・ 復興大学主催の「復興支援インターン」に参加する「大阪学院大学」「立命館大学」の学生による活動報告会を行います。
- ・ 被災地企業での活動や、情報発信等の取組、今後の展望などについて報告します。
- ・ 報告会の最後には、小泉復興大臣政務官から講評を行う予定です。

▼進行 (予定)

時間	内容
14:55-14:56	事業説明
14:56-15:07	活動報告①・②
15:07-15:10	講評

A会場

「東北オープンアカデミー」による プレゼンテーション

場所・時間 A会場 メインステージ
15:50-16:00 (予定)
プレゼンテーション

- ・ 「新しい東北」の取組から生まれた、地方から日本の未来をつくる社会実験プロジェクト「東北オープンアカデミー」の取り組みを報告します。

A会場

「東京藝術大学」風景と心の復興∞ 東北風景の発信／ポータルサイト発表

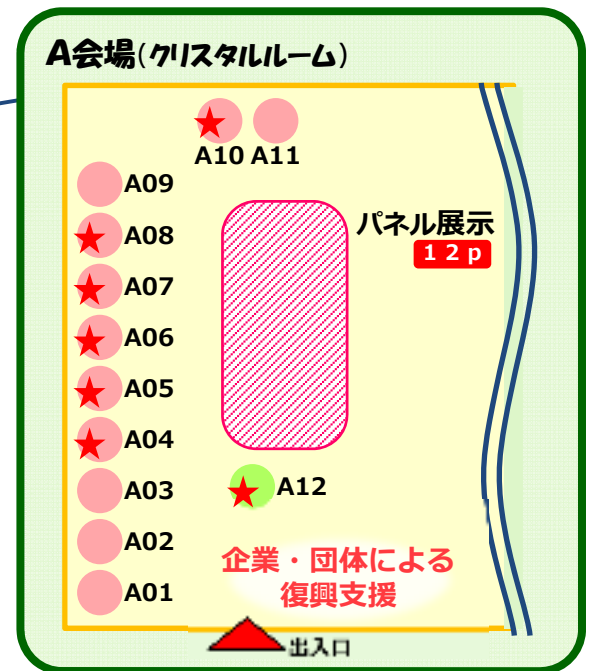
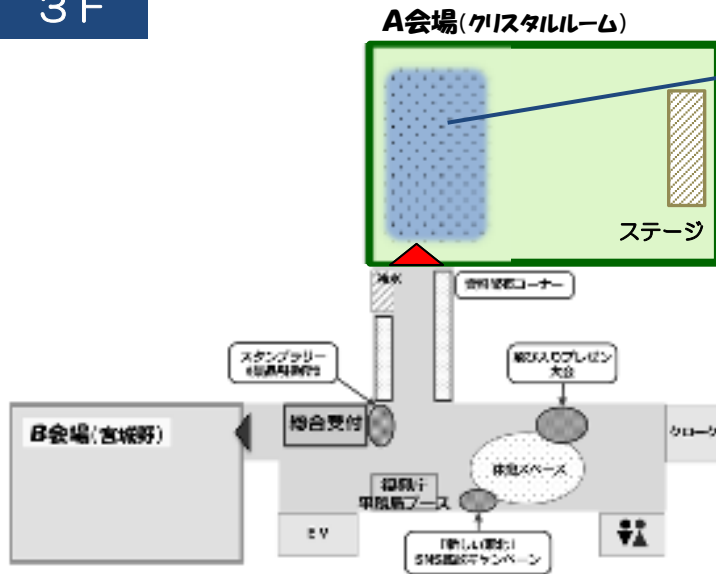
場所・時間 A会場 メインステージ
16:00-16:20 (予定)
映像上映

- ・ 2月2日～4日に仙台メディアテークで実施したイベントの様子を上映します。あわせてポータルサイトのモデルをお見せします。

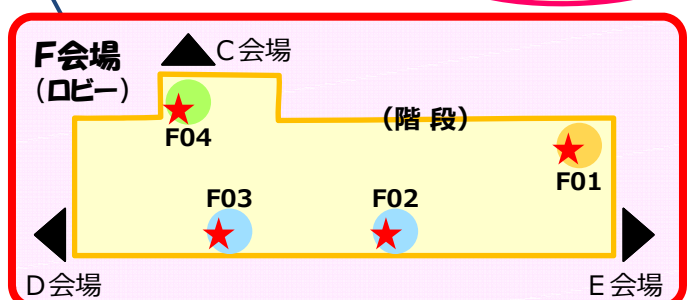
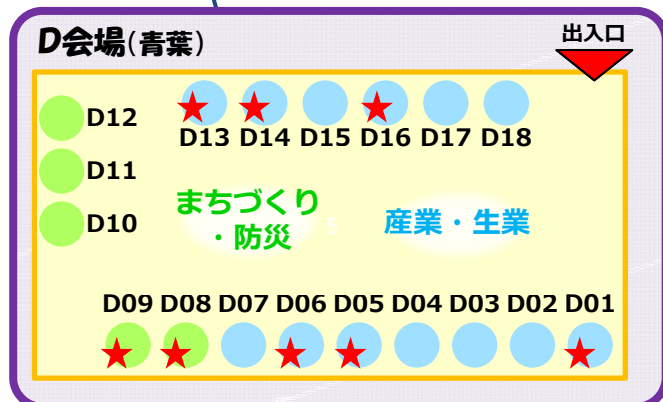
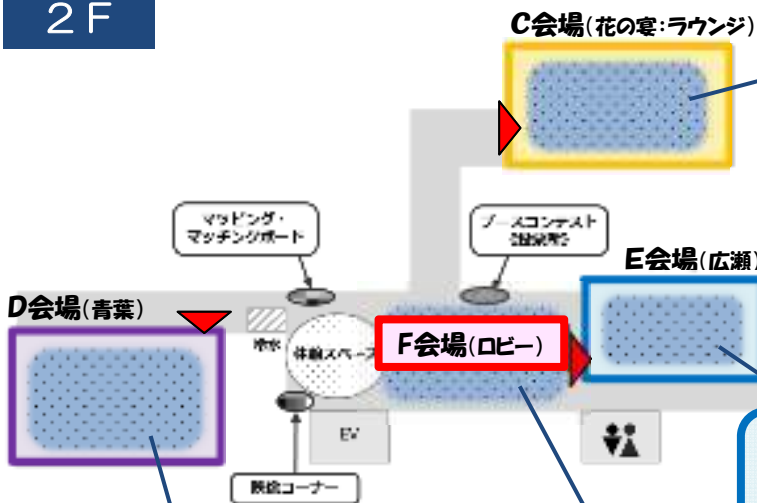
ブース出展

- 企業・団体による復興支援
- 産業・生業
- まちづくり・防災
- 「新しい東北」マルシェ
- 「新しい東北」相談コーナー
- ★ スタンプラリー参加団体

3F



2F



各種支援の相談に乗ります！

企業・団体による復興支援

3 F
7 p

A01	株式会社日本政策投資銀行
A02	株式会社みずほ銀行
A03	大和リース株式会社
A04	イノベーション東北 supported by Google
A05	株式会社ジェイティービー
A06	株式会社NTT東日本ー東北
A07	日本百貨店協会
A08	インクリメントP株式会社
A09	一般社団法人 日本生産技能労務協会
A10	東北グリーン復興事業者パートナーシップ（事務局・ 株博報堂）
A11	東北オープンアカデミー 実行委員会

まちづくり・防災

3・2 F
7 - 8 p

A12	第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会
D08	一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター
D09	コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会
D10	いのちと地域を守る 津波防災アクション「カケアガ レ！日本」
D11	「生きる力」市民運動化プロジェクト SENDAI CAMP実行委員会
D12	地域防災モデルシステムによる頑健で活力ある東北創 造プロジェクト
E02	特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポート センター
E03	まちづくりNPO新町なみえ
E04	(株)テレビユー福島
F04	「孝行サービス」コンソーシアム

「新しい東北」マルシェ

2 F
8 - 9 p

C01	株式会社磐城高箸
C02	東北☆家族
C03	一般社団法人 東松島みらいとし機構
C04	一般社団法人 和RING-PROJECT
C05	スメーブジャパン株式会社
C06	アクセンチュア株式会社
C07	一般社団法人SAVE IWATE
C08	特定非営利活動法人再生可能エネルギー推進協会
C09	インフォコム株式会社 岩沼みんなの家

- 印：「「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2014」の受賞団体
- 印：「被災地の元気企業40」の掲載団体
- 印：「被災地の元気企業40」に成功事例として紹介されている団体

C10	特定非営利活動法人ビルトグリーンジャパン
C11	島津麴店（しまづこうじてん）
C12	地域資源利活用推進協議会
C13	独立行政法人 中小企業基盤整備機構 支援先
F01	NPO法人 土湯温泉観光まちづくり協議会

産業・生業

2 F
9 - 10 p

D01	東京藝術大学社会連携センター 風景と心の修景およ び創景事業プロジェクトコンソーシアム
D02	東北大学大学院農学研究所 東北復興農学センター
D03	岩手アカモク生産協同組合
D04	サメの街 気仙沼構想推進協議会
D05	株式会社釜石プラットフォーム
D06	いわて復興ツーリズム推進協議会
D07	東北地域資源活用観光創造事業推進協議会 株式会 社百戦錬磨
D13	NPO法人テラ・ルネッサンス大槌復興刺し子プロジェ クト
D14	一般社団法人WATALIS
D15	株式会社アイザック
D16	株式会社 千田精密工業
D17	株式会社明豊
D18	宮古 チーム漁火
F02	宮城県（観光課、国際経済交流課、新産業振興課、富 県宮城推進室、食産業振興課、水産業振興課）
F03	独立行政法人科学技術振興機構（JST）

「新しい東北」相談コーナー

2 F
10 p

E01	岩手県（一般社団法人さんりく未来推進センター）
E05	（株）仙台銀行
E06	東北財務局
E07	独立行政法人都市再生機構
E08	日本財団
E09	一般社団法人RCF復興支援チーム
E10	独立行政法人 中小企業基盤整備機構

企業・団体による復興支援

A01 株式会社日本政策投資銀行

震災復興への日本政策投資銀行(DBJ)の取り組み

震災復興ファンド等による資金ニーズへの対応、地域資源を活用した観光と食のコラボレーション創出や日本酒の消費拡大に向けた仕掛けなど支援先企業の価値向上への取り組み等、DBJの創造的復興に向けた取組をご紹介します。

A03 大和リース株式会社

大和リース㈱の官民連携における復興支援事業

大和リース㈱の震災復興への取組と、今後の官民連携事業への取組について

A02 株式会社みずほ銀行

海岸防災林の再生「くみずほ」の森プロジェクト

津波で甚大な被害を被った福島県いわき市の海岸防災林の再生に向けて、2013年4月に福島県・いわき市・防災林所有者と4者協定を締結し、2014年11月よりクロマツの植樹活動を展開中。

★ A04 イノベーション東北 supported by Google

イノベーション東北

イノベーション東北は、Googleが主催する復興プロジェクトです。東北の未来のために新しい挑戦に取組む事業者と、スキルを活かして挑戦をお手伝いするサポーターをクラウド上でマッチングするプラットフォームです。

★ A05 株式会社ジェイティービー

株式会社ジェイティービー

東日本大震災発災から被災者の2次避難や、ボランティアバスの運行、被災地を学びのフィールドとして震災記憶風化防止。さらには、第2のふるさとと感じてもらうべく「東北ふるさと化(課)」の取り組みなど「旅のちから」でお手伝いしています。その取組をご紹介します。

★ A06 株式会社NTT東日本・東北

きずな支援ねっと

東日本大震災の被災者や支援者の皆様の経験を元に、「きずな支援ねっと」を開発しました。アタッシュケース一つで簡単に、素早く避難所の状況把握・情報共有が可能になり、どこでも避難所を開設・運営出来ます。

★ A07 日本百貨店協会

百貨店バイヤーが選ぶ「東北発！百貨店推奨ブランド」

東北の百貨店(10社)現役バイヤーが、東北産品の魅力を再発見し、さらなる魅力を引き出すために、「東北発！百貨店推奨ブランド」としてカタログ化。カタログ内容の紹介と、百貨店OBによるアドバイス事業について紹介。

★ A08 インクリメントP株式会社

震災前後の現地状況確認ソリューション

震災以前に撮影された道路走行画像アーカイブのご紹介、画像の活用事例として、岩手県で行われる「復興」をテーマにしたスマフォアプリコンテストのご紹介をいたします。また、街の風景が一覧できる震災前後の航空写真のご紹介をいたします。

A09 一般社団法人 日本生産技能労務協会

一般社団法人 日本生産技能労務協会

当協会は製造請負・派遣の人材サービス企業の団体です。これまで被災地域の雇用確保や復興事業に会員企業一体となって取り組んで参りました。この実績を中心に、ご紹介をしております。

★ A10 東北グリーン復興事業者パートナーシップ(事務局・㈱博報堂)

東北グリーン復興事業者パートナーシップ

東北本来が持つ自然環境を活かし、「新しい東北」の実現へ。企業が持つ課題解決スキルで地域資源が持つ潜在的な力を活かす東北の新しい再生モデルを持続的に創造するプラットフォームです。

A11 東北オープンアカデミー 実行委員会

東北オープンアカデミー

“未来をつくる現場”で活動する東北のリーダーのもとに、次世代を担う1,000人が全国から東北に集結。2泊3日のフィールドワークに参加し、リーダーとともに現場を巡り、議論し、未来の可能性を探る「地域再生の学舎」を開きます。

まちづくり・防災

★ A12 第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会

国連防災世界会議開催PR(ブース)

平成27年3月14日～18日にかけて仙台市内の施設を会場に第3回国連防災世界会議が開催されます。会議開催期間中には一般参加可能なパブリック・フォーラムとして、多数のシンポジウムが開催されますので、ぜひご参加ください。

★ D08 一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター

「わが家と地域の災害対応」と「災害ボランティア育成」プログラム

東日本大震災の災害緊急・復興支援にのべ8万人のボランティアを派遣したノウハウを活かし、災害時における自助、共助をわが家、地域で進めていくための各種プログラムをご紹介します。その他、石巻や全国各地での災害支援活動について気軽ににお尋ねください。

★ D09 コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会

ICTシステム等を活用した防災促進と地域の災害対応力の強化

石巻街なかで震災学習を目的に開発した「石巻津波伝承AR」アプリと「防災まちあるき」の実践事例をご紹介します。また、まちづくり団体と料理店の組合による防災の取り組みから生まれた冊子「料理店の震災談義」など、“石巻発の防災”をご紹介します。

D10 いのちと地域を守る 津波防災アクション「カケアガレ！日本」

いのちと地域を守る 津波防災アクション「カケアガレ！日本」

東日本大震災で甚大な被害を引き起こした津波からの避難をテーマに、河北新報社をはじめとする地方新聞社、東北大学災害科学国際研究所、電通グループが地域と連携して津波避難訓練等を実施し、地域特性に応じた津波避難訓練プログラムの開発に取り組む。

★：スタンブラリー参加団体

●印：「「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2014」の受賞団体
●印：「被災地の元気企業40」の掲載団体
●印：「被災地の元気企業40」に成功事例として紹介されている団体

D11 「生きる力」市民運動化プロジェクト SENDAI CAMP実行委員会 被災訓練プログラム SENDAI CAMP ～あなたの“生きる力”を高めよう！～

被災体験というよりも実践的な形で模擬体験する「被災体験プログラム」を開発中。9/27（土）14：00～9/28（日）8：00頃の約18時間、実際に仙台市の街なかの公園でテント泊を実施した模様を紹介します。

E02 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

「だれもが地域で普通に」暮らし続けることのできる地域社会の実現をめざして

地域住民や被災地の支援者などを対象に、研修会やイベントの開催、調査・研究、出版など行うNPO法人です。高齢化や過疎化など、全国共通の課題を、10年早回しに迎えたと言われる被災地から、支え合いのある住民主体の地域社会づくりを発信します。

E04 (株)テレビユー福島

買い物弱者支援サービス ～データ放送から専用リモコンでお買い物～

山間地の高齢者と原発事故後の帰還受住民という二つのモデル地区において、地上波データ放送画面から直接買い物注文を行うサービス（※地上波初の実証実験（1月8日～2月16日）のデモ。

D12 地域防災モデルシステムによる頑健で活力ある東北創造プロジェクト 地域に根ざしたICTサービス活用による頑健で活力ある街づくり

今年度から開始した本事業では、宮城県角田市・岩手県滝沢市と、災害時および平常時におけるICTサービス活用の考え方について議論してきました。本日は、これまでの議論の内容と、地域での情報発信・共有を支える試作中のICTサービスをご紹介します。

★ E03 まちづくりNPO新町なみえ

こどもまちづくり会議

今後の復興を担う原発被災地と受入自治体の子どもの対象に、子どもまちづくり会議（まちづくり体験等）を開催しています。また、子ども達の居場所を作り、全国にバラバラに暮らしている子どもたちと情報ネットワークで繋がることによる広域の地域コミュニティの構築にも取り組んでいます。

★ F04 「孝行サービス」コンソーシアム

【高齢者移動支援】 おいで！毎度！送迎サービス デマンドバス試乗会

交流会会場の「民間主導型デマンドバス」試乗会を実施します！ スーパーや病院等を通してながら、車載器を使った実演など、実際の運行の様子を車内で再現します。当日、乗車をご希望の方は2階ロビー前の「乗車受付」にて担当スタッフにお声掛け下さい。

「新しい東北」マルシェ

★ C01 株式会社磐城高箸

林業と地域を再生させる、間伐材を使用した高級割り箸

衰退する林業を、更に衰退著しい国産高級割り箸製造・販売に参入することにより活性化させる磐城高箸の取組。杉間伐材を活用したデザイン性豊かな高級割り箸や派生商品を是非ご覧ください！

★ C02 東北☆家族

東北☆家族

各地自慢の名産品がユニークなキャラクターになって、東北をPR！日本全国、世界に向けて、希望のメッセージを伝えていきます。矢野顕子さんが歌うテーマソングも必聴！グッズの販路拡大、協賛企業、絵本の出版先などを求めています。

★ C03 一般社団法人 東松島みらいとし機構

東松島ステッチガールズ

デンマークの伝統的なクロスステッチ刺繍で子育て世代の女性のための新しい産業と生き甲斐を創出していくとする取組みです。現在、東松島市や石巻市在住の女性47名で楽しく活動しています。

★ C04 一般社団法人 和RING-PROJECT

東北ウッド・クラフト・ネットワークの取組

大槌、釜石をはじめとする東北地方の豊かな森林と木工の職人的ものづくりを先導的な技術を用いて再生・起業を目的としています。地域連携により、木材の循環構造（伐採～製材～製造・販売までを地域内で一貫するサプライチェーン）を創り上げる取組です。

★ C05 スメーブジャパン株式会社

スメーブジャパン(株)ーナンノクロロプシスー

宮城県石巻市で微細藻の生産・販売を行っている。弊社が扱う微細藻ナンノクロロプシスは、他の微細藻に比べ脂質含有率が高く、オメガ3不飽和脂肪酸のEPAが高含有という特徴をもつ。高機能食材としての新商品開発・市場開拓、バイオ燃料への利用を目指す。

★ C06 アクセンチュア株式会社

クレジットカード決済限定！会津地域の厳選名産品の販売

モバイル端末を使ったカード決済システムの導入促進により、会津地域の経済活性化を目指しています。ブースでは、厳選した会津の名産品をご用意しています。もちろん支払いはカード決済のみ。当日はぜひクレジットカードのご用意を！

★ C07 一般社団法人SAVE IWATE

日本初!! 和グルミのお酒が登場

3年かけてようやく「くるみのおさけ」が完成。被災者の方々が集めた和グルミを使い、大槌で被災した赤武酒造さんにお酒にいただきました。トロリとした甘さが本当においしいです。樹皮細工のかご、古い着物をリメイクした作品などもあります。

★ C08 特定非営利活動法人再生可能エネルギー推進協会

霊山プロジェクト「霊山（やま）のほまじ」

原発事故前、地元の名峰・霊山に入れば持ちきれないほどの山のめぐみ（やまのほまじ）をいただけた。たとえ何十年掛かろうとも、そのめぐみを一つずつ取り戻していく取り組みが「霊山プロジェクト」です。

★ C09 インフォコム株式会社 岩沼みんなの家

岩沼みんなの家 by infocom

岩沼みんなの家 by infocomは、東日本大震災被災地である岩沼市の農業復興支援活動とその復興支援継続の為の事業を創出していく拠点の場です。コミュニティスペースとしての利用や毎週土日には産地直売の開催、平日はカフェ営業も行っています。

C10 特定非営利活動法人ビルトグリーンジャパン

農業と太陽光の恵みで被災地を元気に！！

農地を立体的に活用する試みで、栽培畑の上に両面で発電する太陽光パネルを設置し、発電効率と農作物の種類、適合性、生育状況などを調査・検証し、農業と発電事業の両立を図り、被災地を元気にする事業です。

★
C11
島津麴店（しまづこうじてん）

●
★
C12
地域資源利活用推進協議会

島津麴店（しまづこうじてん）

明治42年創業で石巻圏域唯一の靴製造所です。石巻は歴史的背景の中で米食文化が育ち、発酵技術が継承され現在6代目。生産者の顔が見える上質な材料のみを使い、お客様への感謝と老舗の誇りを未来の力に変え、日本古来の伝統食品を製造。

地域資源利活用推進協議会

CAS冷凍技術を完備する臨海加工施設を世界三大漁場三陸に整備。水揚げされる高鮮度魚介類を、一次～高次処理まで、ご希望の規格に高鮮度のまま製造加工いたします。

★
C13
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 支援先（仙台港蒲生地区色彩関連業震災復興グループ、清酒「宮寒梅」醸造元 合名会社 寒梅酒造、有限会社 蔵王の昔鮎本舗、菓子舗 サイトウ）

仙台港蒲生地区色彩関連業震災復興グループ

当グループは震災後、仙台港・蒲生地区において情報交換・相互支援を行うなどしながら、復興へ向けて開設致しました。異業種6社の専門技術を融合した製品「復興の灯り」を宮城県から発信し、見る人の心を豊かにする灯りづくりを企画しています。

清酒「宮寒梅」醸造元 合名会社 寒梅酒造

「ここに春をよぶお酒」をモットーに、宮城県大崎市古川にて酒米作りから醸造まで一貫して製造しております。代表銘柄は「宮寒梅」。華やかな香りと奥深い味わい、爽快なキレが特徴です。

有限会社 蔵王の昔鮎本舗

地産地消はもとより地域に根ざした6次化で、もの創りを行っております。今回は、県の「食の復興支援事業」において、県内の莓を使用した「宮城のいちご鮎」紹介致します。当日は、テスト販売と商品アンケート調査を予定致しております。

菓子舗 サイトウ

気仙沼の中心、船着き場から70～80mの所にあった店舗が被災して3ヶ月後に別の再開しました。全国の方から応援いただき1日も早く元の場所で作れるように頑張っています。今日はさんまパイ、ホヤぱーやサブレを試食、販売しています。

★
F01
NPO法人 土湯温泉観光まちづくり協議会

温泉熱と再生可能エネルギーを活用した産業と観光商品の創出

土湯温泉の温泉熱を活用したミラクルフルーツや野菜の栽培、そして、地熱利用によるバイナリー発電の冷却水として活用された温水や温泉熱による陸上での海水魚養殖事業を調査研究し、震災復興再生の核のひとつとしています。

産業・生業

★
D01
東京藝術大学社会連携センター 風景と心の修景および創景事業プロジェクトコンソーシアム

風景と心の修景および創景事業「風景と心の復興」

当事業は東北の失われた風景を多くの断片的な記録からアーカイブ化し、また芸術表現作品として再生して、新しい東北とふるさとの創造にヒントと貢献を提供することを目的として、風景の収集・修景・創景の3つの事業に取組んでいます。

D02
東北大学大学院農学研究科 東北復興農学センター

東北大学大学院農学研究科 東北復興農学センター

平成26年4月に農学研究科に開所し、大規模自然災害、環境劣化、感染症などの諸課題について学際的視点から研究を行っている。また復興農学マイスター、IT農業マイスターの各教育コースを設け社会人や学生に対し復興を牽引する人材の育成を行っている。

D03
岩手アカモク生産協同組合

岩手アカモク生産協同組合

海藻アカモクを利用した商品、研究等の取り組みを紹介。アカモクが有する白色脂肪燃焼効果成分フコキサンチン・独特のメカニズムの違いをご紹介します。多糖類の花粉症低減への研究紹介。世界初となる海藻の陸上養殖研究のご紹介。

D04
サメの街 気仙沼構想推進協議会

サメの街 気仙沼構想推進協議会

サメの街気仙沼構想推進協議会では、有数のサメの水揚げ地である気仙沼を盛り上げる様々な取組みを進めています。今年度は新しい東北先導モデル事業も実施しています。サメの魅力を伝え、水産加工業者・飲食店・自治体など地域が一丸となって、元気な気仙沼を目指して日々活動しています。

★
D05
株式会社釜石プラットフォーム

三陸鉄道とキッチンカーによる地域活性化

釜石市で震災60日後に被災飲食店救済を目的とした”かまいしキッチンカープロジェクト”は、起業のステップアップのツールになり、中心市街地の活性化の起爆剤として注目を集めました。昨年より舞台を三陸沿岸に広げ好循環を波及させるため進化を始めました。

★
D06
いわて復興ツーリズム推進協議会

『新しい学びの場としての被災地の可能性』

災害対応やBCP・防災対策の知恵、または企業の人材育成（新人、リーダーシップ、組織活性化等）の観点から質の高い被災地研修を目指し展開中。復興の最前線にいる人々が発する強いメッセージは「仕事」「組織」そして「生きること」の意義を問い直します。

D07
東北地域資源活用観光創造事業推進協議会 株式会社百戦錬磨

農林漁家・古民家・民宿予約サイト「とまりーな」の活用

主に教育旅行としての利用が多かった東北地方における農林漁家・古民家などでの体験型グリーンツーリズムを、インターネット予約サービスの活用により、個人旅行者に向けて発信し、地域の新たな収益機会の提供と旅行者の田舎体験および人間的交流を促進します。

★
D13
NPO法人テラ・ルネッサンス大槌復興刺し子プロジェクト

大槌復興刺し子プロジェクト

東北の伝統技術である「刺し子」を使った商品の制作・販売により三陸地域の仕事と新しい女性の働き方づくりに取り組んでいます。無印良品様とのコラボ商品やいすゞ自動車様でのノベルティに採用されるなど、企業さまとの連携も積極的に進めています。

★
D14
一般社団法人WATALIS

中古着物地によるリメイク雑貨製造販売事業～感謝を包む仕事でグローバルブランドを創るチャレンジ！

全国から寄せられた着物地を女性達の手で加工し、地域に受け継がれてきた文化や人々の想いを形にしたリメイク雑貨を企画・製造・販売。筆箋に眠る着物地の価値を高めて再び市場に投入する「アップサイクル文化」を醸成し、繊維のリサイクル率向上を図る。

D15
株式会社アイザック

株式会社アイザック

東北発のロボット開発会社として、2012年から会津若松市で医療・介護、危険作業・災害対応の各種ロボットを開発しています。あなたのためのロボット技術“Your Robotics”を目指し、ロボットと人が調和した未来の社会を創造していきます。

★：スタンブラリー参加団体

●印：「『新しい東北』復興ビジネスコンテスト2014」の受賞団体

●印：「被災地の元気企業40」の掲載団体

●印：「被災地の元気企業40」に成功事例として紹介されている団体

★D16 株式会社 千田精密工業

株式会社 千田精密工業

当社は金属加工会社であります。多種多様な機械設備を保有し、大型加工から溶接品まで、創業30年来に及ぶ、ものづくり技術の蓄積と、FSW（摩擦撹拌接合）技術を駆使し、お客様の多様なニーズにお応え致しております。

D18 宮古 チーム漁火

宮古プライド

目指すのは、熱く大海を照らす漁火。私たちのアクションが漁火となり、人々の心を引き寄せ、宮古の水産業を盛り上げて行きたい。宮古の未来は豊饒な海の恵みを使った“ものづくり”にあると信じ、仲間人としての誇りを胸に、地域を背負って立つことを誓います。

D17 株式会社明豊

株式会社明豊

弊社は平成2年に鯉を原料とした水産加工場として発足し以来20年以上にわたり、カツオタタキ・カツオ刺身用加工品の製造販売と塩釜魚市場で仕入れた水産品の販売を行っております。ブースではカツオたたき・カツオ刺身加工品の他昨年水産庁長官賞を受賞したブリたたきの展示を行っております。ぜひお立ち寄りください。

★F02 宮城県（観光課、国際経済交流課、新産業振興課、富県宮城推進室、食産業振興課、水産業振興課）

宮城県 観光・国際交流・伝統工芸品・中小企業施策等のPRブース

宮城県の観光スポット、国際交流の状況、伝統工芸品、中小企業施策等の紹介を行います。ぜひお越しください。

食材王国みやぎ

「食材王国みやぎ」のPR並び、「復興への追い風を起そう！」を合い言葉に、復興に向けて頑張る生産者の方々を応援する「みやぎ風プロジェクト」の紹介。

みやぎ水産の日

「みやぎ水産の日」とは、宮城県内で獲れるおいしい水産物や、水産加工品を、県民や全国の皆様にもっともっと知ってもらい、食べてもらうために、宮城県が制定しました。震災から復興を図るため、県内水産物の消費拡大を目指します。

★F03 独立行政法人科学技術振興機構（JST）

JST復興促進センターの取り組み・成果

復興促進プログラムを活用した被災地企業と学との共同研究への支援に関し、その取り組みと成果についてご紹介いたします。特に、南三陸町で実施している農畜産物の産地形成や加工などの仕事作りの事例を紹介いたします。

「新しい東北」相談コーナー

★E01 岩手県（一般社団法人さんりく未来推進センター）

販路開拓・取引支援プロジェクト『さんりくチャレンジ』

販路開拓プロジェクト『さんりくチャレンジ』のさらなる効果増進を図るため、新たに「さんりく自然派倶楽部」というブランドづくり、東京都北区商店会との連携、小規模事業者の協働化への取組み、さらにはICTの活用などを展開しています（サポーター募集中）。

E06 東北財務局

東北財務局業務紹介

個人版私的整理ガイドライン、国有財産行政、社会保障と税の一体改革等に関する資料の配布を行います。

E08 日本財団

日本財団「WORK FOR 東北」

民間の力で復興を加速することを目的とした復興人材プラットフォーム構築事業「WORK FOR 東北」の、これまでの取り組みの成果のご報告と今後の展開のご紹介。復興への関わりを模索されている企業様のご相談にも応じます。

E10 独立行政法人 中小企業基盤整備機構

震災復興支援アドバイザー制度のご紹介

独立行政法人中小企業基盤整備機構で実施している、震災復興支援アドバイザー制度のご案内です。この制度は、東日本大震災において被災された中小企業へ、経営に関するアドバイザーを派遣し支援を行うものです。

E05 仙台台銀行

仙台台銀行

金融のみならずビジネスマッチングなどのご相談も承ります！

E07 独立行政法人都市再生機構

UR都市機構の復興支援の取組み

UR都市機構の復興まちづくり支援について、取組み内容や進捗状況をまとめたパネル掲示・パンフレット配布を行います。また、被災地への民間企業等の進出・連携についてもお相談ください。

E09 一般社団法人RCF復興支援チーム

一般社団法人RCF復興支援チーム

RCF復興支援チーム（<http://rcf311.com>）では、官民連携による生活再建、事業者・自治体に対する仮設住宅支援・コミュニティ支援・水産加工業支援・人材マッチング支援等について幅広い分野で復興を支援しています。ブースでは、活動の状況をご紹介いたします。

ブース関連企画のご紹介

参加者募集!!

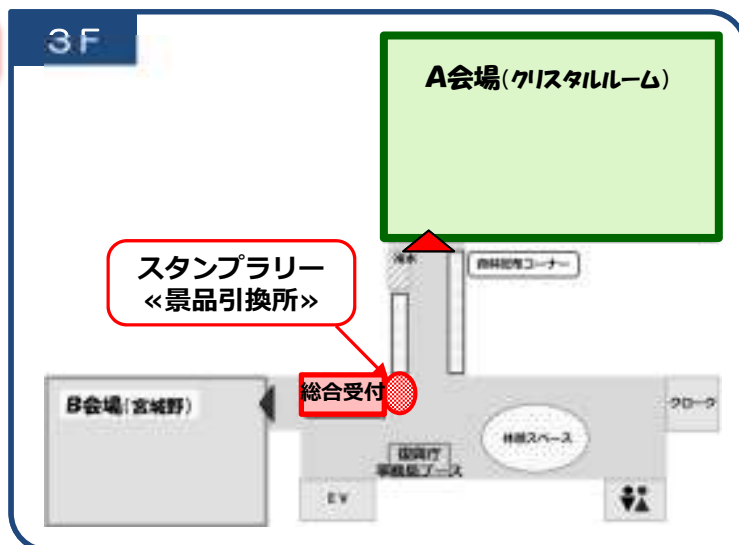
スタンプラリー

各会場のブースでスタンプラリー登録団体を訪れて、スタンプを集めましょう！

合計5個以上（A・C・D・E・F会場で各1個以上）集めた方には3F「総合受付」で、ブース出展団体様等からご提供いただいた景品をお渡しします。

《景品の例》

ジャム、サプリメント、味噌、お酒、高級割箸、コースター、キャラクターストラップ、メジャー、ピンバッジ、DVD、情報誌、など



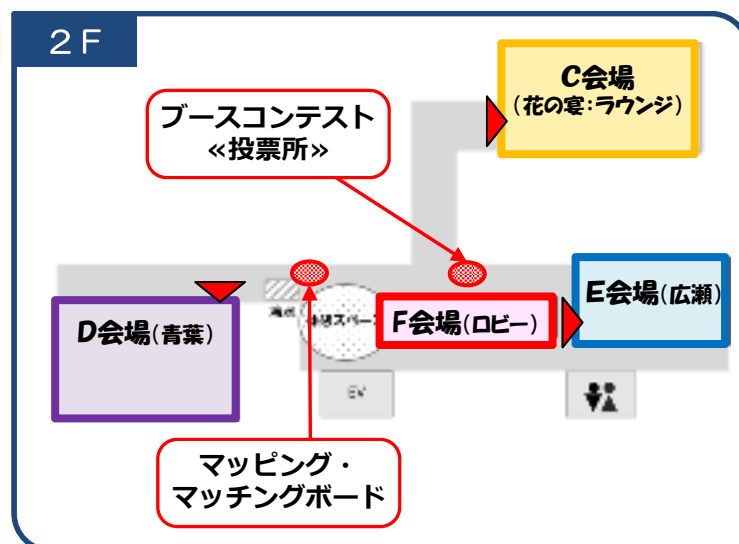
投票歓迎!!

ブースコンテスト

皆様がご興味を持った、よいと思ったブースを投票してください。交流会終了後、得票数の多かった団体を発表する予定です。

《特典の例（予定）》

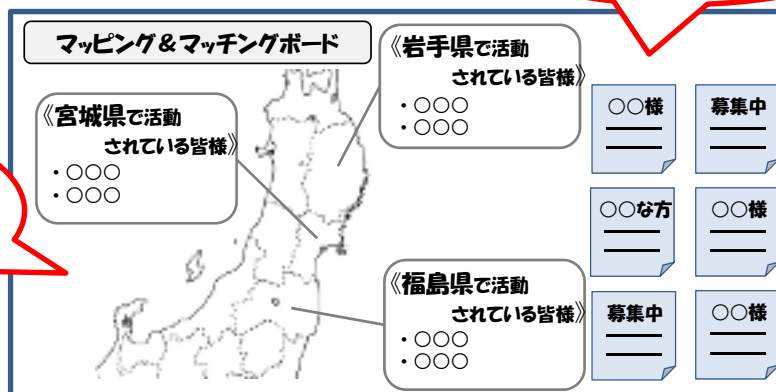
協議会ウェブサイトで、入賞団体の取組内容や効果的なブース出展方法のポイントを掲載する等の特典により応援させていただきます。



マッピング・マッチングボード

誰でもご自由にお使いいただけます。今回ご出展頂いている皆様の活動地をご紹介しますので、伝言ボードとしてご活用ください。

この団体の方と今日会って話したい！
と思ったら・・・
付箋にメッセージ・連絡先等を書いて
ボードに貼るなど、自由にご活用ください！



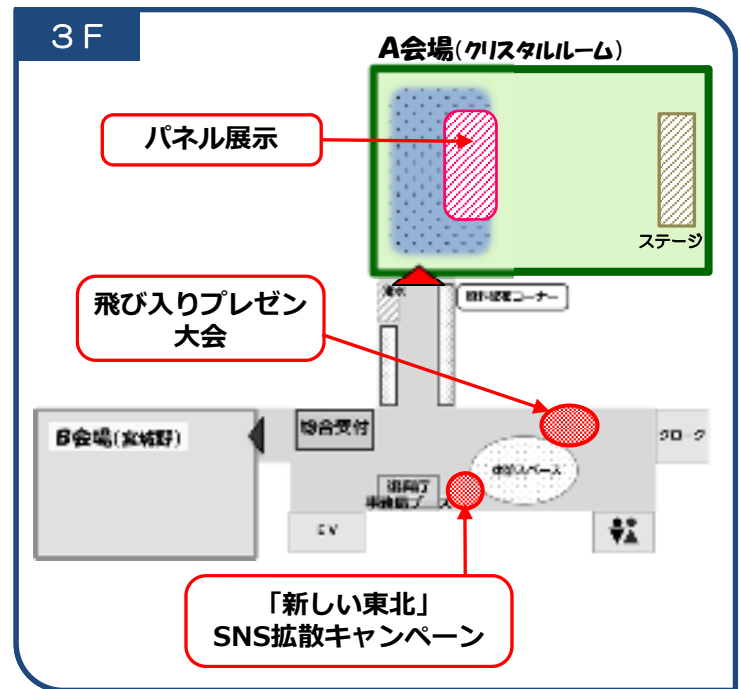
ブース出展いただいている皆様の活動地をご紹介します。
意外と近くで活動されている方など
新しい発見があるかも！？

パネル展示

3FのA会場後方では、パネル展示エリアをご用意しております。企業や団体による復興支援の活動や、被災地での様々なプロジェクトを紹介した展示がございますので、是非お越しください。

▼展示団体（五十音順）

- ・株式会社イトーヨーカ堂
- ・鹿島建設株式会社 東北支店
- ・農業生産法人 株式会社 高森農園
- ・有限会社東海バイオ
- ・特定非営利活動法人日本臨床研究支援ユニット
- ・農林中央金庫
- ・パナソニック株式会社
- ・富士通株式会社
- ・株式会社ポケモン
- ・リコージャパン株式会社



飛び入りプレゼン大会

参加者募集!!

以下の団体の皆様によるプレゼンテーションが予定されています。また、空いている2枠では、当日飛び入り参加でご発表いただけます。当日、飛び入りでの発表をご希望の方は3F「総合受付」でお申し付け下さい。

▼プレゼンテーション時間

順番	時間	発表団体	順番	時間	発表団体
①	12:30-12:40	東北☆家族	⑧	14:15-14:25	東北大学
②	12:45-12:55	岩手大学	⑨	14:30-14:40	大和リース
③	13:00-13:10	コガソフトウェア	—	(休 止)	
④	13:15-13:25	テレビユー福島	⑩	16:15-16:25	岩手県
⑤	13:30-13:40	サメの街気仙沼構想推進協議会	⑪	16:30-16:40	空いています！
⑥	13:45-13:55	東海バイオ	⑫	16:45-16:55	空いています！
⑦	14:00-14:10	新興事業創出機構	—	(休 止)	

「新しい東北」SNS拡散キャンペーン

参加者募集!!

交流会の開催中、どなたでもご利用いただけます。ご用意した「新しい東北」パネルと好きなものを掛け合わせて、「新しい東北」と皆さんの取組をPRしてください。

- ①設置されているパネルと、
フリップ（ホワイトボードを用意します）や
商品、ご自身と一緒に記念撮影！

- ②FacebookやTwitter等のSNSで
その写真をみんなと共有して下さい！



「被災地の元気企業40」発表イベント

場所・時間

A会場 メインステージ 15:20-15:50

時間	内容
15:20-15:35	竹下復興大臣より顕彰状授与
15:35-15:50	成功事例者によるスピーチ

「被災地の元気企業40」とは

岩手・宮城・福島県の3県の被災地域における企業等の事業活動の中から、①「新しい東北」の創造に向けてモデルとなる被災地企業の先導的成功事例、②創造的な取組を進める途上にあり、本「被災地の元気企業40」に記載されることが取組の後押しとなる事例を選定し、その取り組み内容について経営者のビジョンや具体的な課題解決手法に触れつつ取りまとめたものです。

▼選定方法

地方公共団体へのヒアリング等によりリストアップした約700件の企業等による取り組みについて、事業者へのインタビューを通じ以下の11の観点から特筆される取組の有無やその内容やこれまでの成果を評価し、成功事例と挑戦事例に分類して掲載事例を選定しています。

- | | | |
|---------------|-----------|--------------|
| ①新商品・新サービスの開発 | ⑤人材強化 | ⑨マネジメント強化 |
| ②新たな事業の立ち上げ | ⑥新たな需要の獲得 | ⑩サプライチェーンの構築 |
| ③コストの削減 | ⑦ブランド力の向上 | ⑪その他 |
| ④資金調達 | ⑧情報発信の向上 | |

掲載事例の選定および掲載内容の監修は、以下の外部有識者によって行われました。

大滝 精一 氏（座長、東北大学大学院経済学研究科 教授）
牛尾 陽子 氏（公益財団法人 東北活性化研究センター フェロー）
竹井 智宏 氏（一般社団法人 MAKOTO 代表理事）
橋本 哲実 氏（株式会社 日本政策投資銀行 常務執行役員）
渡辺 泰宏 氏（一般社団法人 東北経済連合会 専務理事）

▼選定結果

上記に基づく選定の結果、以下のとおり計40件の事業者の取り組みを選定し、掲載しました。

	岩手県	宮城県	福島県
成功事例	※2	1	※3
挑戦事例	12	14	9
計	14	15	12

※岩手・福島両県に所在する企業の事例を双方に計上

成功事例のご紹介



宮古 チーム漁火（岩手県宮古市）

代表 鈴木 良太氏

「志が連携を超えた一致団結を生み売上回復を達成」

従来型ビジネスモデルへの危機感を感じていた宮古市内の水産加工業者4社の若手経営者が震災を契機に連携。施設の再建にあたっては、各社の強みを生かした相互補完を前提に、単なる復旧ではなく全体最適を意識した設備投資を実施したほか、商品開発から購買、製造、販売まですべてのバリューチェーンで4社が連携して事業を行っている。この結果、各社とも震災前の水準まで業績を回復させている。



株式会社 明豊（宮城県塩竈市）

代表取締役 松永 賢治氏

「バリューチェーンの拡大によって売上増加を実現」

カツオの加工・販売を主に手掛けるが、震災により本社工場は大きな被害を受ける。復興交付金を活用し工場再建を図る一方、震災以前より課題となっていた加工品の原料となるカツオの安定調達を図るべく、自社で一本釣り漁船を取得し、水揚げ→保管→加工の一貫したサプライチェーンを構築。大手小売業者との取引拡大も実現した結果、売上・従業員数も震災前を上回るなど、塩竈の水産業復興の一翼を担っている。



株式会社 ナプロアース（福島県伊達市）

代表取締役 池本 篤氏

「新天地で新たな経営理念を共有し短期間での売上回復に成功」

福島県浪江町を拠点に自動車リサイクル部品の販売と廃車処理事業を行っていたが、原発事故により伊達市へ移転。震災後の人材確保が難しい中、多様な方法で企業イメージの向上や経営ビジョンの社内への浸透を図り、事業再開に必要な人材の獲得・定着を図った。また専門家やITを積極的に活用し、人材を即戦力として活用すべく業務のマニュアル化、効率化を進めた結果、震災前の売上を上回るまでの復活を遂げている。



東西しらかわ農業協同組合（福島県白河市）

代表理事組合長 鈴木 昭雄氏

「福島農業の再生に道を拓く農協の取り組み」

従前より「命のもととなる農産物づくり」という想いの下、化学肥料・農薬を削減した農産物を「みりよく満点ブランド」として独自に展開。震災後は農作物の風評被害に直面する中、JA初となる完全密閉型植物工場で、完全無農薬・高栄養価かつ洗わずに食べられる高付加価値の野菜を生産するほか、ファーマーズマーケットやレストランを新設して新たな需要創出に努め、地域の農作物の販路確保に成果を上げている。



株式会社みちのりホールディングス

（岩手県盛岡市、福島県福島市、福島県会津若松市）

代表取締役 松本 順氏

「グループ同士のベストプラクティスの共有により業績を向上」

岩手県、福島県を含む地方バス会社グループを傘下に有し、人口減少時代の地方経済の発展を交通インフラの側面から後押しすべく震災後も地域の足として重要な役割を担っているほか、地域の特性を活かした旅行プランを国内外へ発信し観光客を呼び込んでいる。また、マーケティングやコスト管理に関するグループ各社のベストプラクティスをグループ内で共有する体制を構築し、効果的な業務改善が図られている。

事務局からのお知らせ

協議会の上手な使い方

Step1：交流会で声をかける

まずは名刺交換から。関心事項や問題意識を共有している人と出会ったら、積極的に意見交換も！

直接会って話したい人に会うために
マッピング・マッチングボードを
使ってみてください！

Step2：直接相談をしてみる

先方の連絡先がわからなくても、協議会ウェブサイトの会員専用サービスにご登録いただいている場合は、「メール機能」を活用し、連絡をお取りいただくことができます！

交流会の場では、**スタンプラリー**等の
機会を利用して積極的にブース訪問し、
ゆっくり話したくなったら、
ロビーの**休憩スペース**をご活用下さい！

Step3：取組を発展させる

「プロジェクトのイメージが具体化してきた」「より多くの団体と一緒にイベントを開催したい！」… そんなときには、協議会ウェブサイトで連携相手や物資、資金の募集を呼び掛けることができます。また、事務局（みずほ総合研究所）にご相談いただければ、特定の対象の方に個別情報発信等を行うことができます。

交流会後の連絡、連携相手の募集には、
協議会ウェブサイトや**事務局**を
ご活用下さい！

《連携実績例》

➤ 取引先の開拓につながりました！

会員交流会（3/16@仙台）でブースを出展し、多数の参加者と交流。後日、催事販売の打診があり、大手小売店舗にてフェアを開催。また、会員交流会（9/29@盛岡）でもブースを出展し、多数の参加者と交流。他企業のWebサイトにおける商品の販売支援が決定。また、ある企業では、グループ企業での販売を検討。

➤ 事業者と支援制度とのマッチングにつながりました！

会員交流会（9/29@盛岡）でブースを出展。宮古の水産関係団体による新たな事業展開についてアドバイスをを行うため、後日、復興支援アドバイザーを派遣。また、金融機関と、中小企業支援に向けた連携について検討開始。

【お問い合わせ】

※「新しい東北」官民連携推進協議会および会員交流会に関しては、こちらまでお気軽にお問い合わせください。

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局

（みずほ総合研究所株式会社 社会・公共アドバイザリー部）

E-Mail：nt-info@mizuho-ri.co.jp

TEL：03-3591-8773（平日 9時30分～17時30分）

協議会ウェブサイトはこちら → <http://www.newtohoku.org/>